

## 「サイバーセキュリティ・カレッジ in 熊本 2015」を開催

九州総合通信局(局長：上原 仁)は平成27年2月2日(月)、熊本地方合同庁舎A棟において、「サイバーセキュリティ月間(2/1~3/18)」の関連行事として、熊本県警察本部、熊本県情報セキュリティ推進協議会との共催により、「サイバーセキュリティ・カレッジ in 熊本 2015」を開催しました。

冒頭、主催者を代表して熊本県情報セキュリティ推進協議会の松野了二会長及び熊本県警察本部サイバー犯罪対策課の中川成記課長から挨拶が行われました。



浦口 康也氏

講演では、株式会社くまなんピーシーネットの浦口康也代表取締役から、「身近にできる企業の情報セキュリティ対策～トラブルは必ず起きると考える時代に～」と題して、情報漏えい、サイバー攻撃の発生を完全に防ぐことはもはや不可能になりつつあり、トラブルを「未然に防ぐ」という考えを、「必ず起きる」という考え方に改め、「被害を最小限度にとどめる備え」について講演されました。

次に総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課の橋本桂樹課長補佐より、「平成26年度青少年のインターネット・リテラシー指標等を中心に」と題して、青少年がスマートフォンを利用してインターネットを安全に安心して活用するために、インターネットリテラシーの向上が必要であり、高校生を対象としたリテラシーテストを行い、その結果や青少年のインターネット利用状況・SNSでの利用状況、フィルタリングの有用性等について講演されました。また、「インターネットリテラシー・マナー等向上事例集」から各地域のインターネットリテラシー向上に向けた取組み例などについても紹介されました。



橋本 桂樹氏

また九州管区警察局熊本県情報通信部情報技術解析課の古川博史課長より、「インターネットセキュリティ～情報技術解析平成25年報から～」と題して、標的型メール攻撃やウェブサイト改ざんの発生状況と注意点が講演されました。

最後に九州総合通信局情報通信部電気通信事業課の武永次男課長より、インターネットセキュリティは日頃からの注意が必要であり、スマホによるネット利用時にも十分注意してもらいたい旨

の挨拶が行われました。

本カレッジには、自治体、学校関係者、金融機関、電気通信事業者等117名が参加され、熱心に聴講されていました。

(問合せ先：電気通信事業課 TEL096-326-7821)